



穴山の里 スキー教室



2002年 9月 山梨県障害者文化展で知事賞 受賞



2002年 3月 ハワイ旅行



1997年 9月 韓国旅行



この10年間で事業所(施設)開設が急激に進みました



2016年10月6日
多くの皆様にご出席頂き創立三十周年記念式典を開催致しました。
30年という年月の思い出を語り、今までの感謝とこれからも相変わらないご指導、ご鞭撻をお願いした催しとなりました。

穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
TEL0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



山梨障害者文化展



今年も第19回山梨県障害者文化展が甲府山交百貨店で9/1～9/15まで開催されました。この日の為に利用者のみなさん一生懸命作品づくりに取り掛かりました。その結果、みんなで育て制作に取り組んだ瓢箪愛好会の瓢箪アラカルトが理事長賞、紙をねじったものを貼り絵にした干支の作品・フラワー細工の2点がふれあい賞と3作品が賞に選ばれるという素晴らしい結果になりました。利用者さん達は賞に選ばれた事をととても喜び、見学の際はととても感動をしていました。

山梨県障害者芸術文化祭

9月3日山梨県防災新館1階やまなしプラザで行われた山梨県障害者芸術文化祭に参加しました。穴山の里伝統芸能である安来節を披露してきました。日頃から練習してきたので満足のいく発表ができました。これからも日々の練習を忘れずに取り組んで行きたいです。



夏期家庭訓練



利用者の皆さんにとって待ちわびていた「夏期帰省」が8月13日から16日まで行われました。皆さん自宅に帰り家族と食事をしたり、外出したりと充実した日々を過ごせました。帰園日には楽しかった思い出話に花を咲かせました。

流しそうめん大会

8月20日 まだまだ暑い日が続いていましたが、毎年恒例の流しそうめん大会が行われました。さっぱりと、スルスル食べられるそうめんは、好評で、笑顔で「おかわり」と何度もつけ汁をもらって食べていました。「おいしかった」という声が多くみなさん満足の表情でした。





～農業奉仕班だより～



先日9月27日に北杜市高根町お住まいの竹川宅に行き稲刈り体験してきました。初めての体験で、お米を作る大変さを学び、いい経験となりました。

地域防災訓練

地域防災訓練が9月3日に行われました。今年は「なかよし会」で新しく購入した防災頭巾を被り地区の皆さんと旧穴山小学校へと避難訓練を行いました。また、ガスボンベの発電機の使い方、アルファー米の試食も行われました。もし災害が起きたらこの訓練を活かし落ち着いて行動しなければと感じました。



なごみの郷敬老の日イベント



9月12日になごみの郷敬老の日イベントに参加してきました。穴山の里で育てた大豆を入れて作ったお手玉をプレゼントし「故郷（ふるさと）」を一緒に歌い楽しく交流する事が出来ました。



野球観戦外出



9月9、10日、明治神宮野球場に行き「巨人対ヤクルト」を観戦してきました。一回の表に巨人の選手がホームラン、守備でもファインプレーを見ることができテレビでは味わう事が出来ない迫力あるプレーの数々を目の前で体験することができました。結果も応援していた巨人が勝つことができました。遠出は少し疲れましたが心に残る楽しい外出となりました。



穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL 0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



特別養護老人ホーム穴山の杜は、多くの方々に支えられ本年10月1日で10周年を迎えました。

これからも入居者に満足や喜び、ご家族に安心していただける施設を目指してまいります。

職員一同



特別寄稿

“穴山の杜”開所時を振り返って

第二仁生園 園長 小林 初男
(元 穴山の杜施設次長)

開設十周年本当におめでとうございます。この十年は、事業としても又地域に根付かせる、本当に大変な期間だったと思います。

私も、製造会社を早期退職となり、今後を模索していた中、現在理事で施設長の栗原徳昌様より、声を掛けて頂き福祉に関わるようになりました。社会福祉法人「信和会」様には、平成十七年三月より七年間、お世話になっていました。その間では、特別養護老人ホーム穴山の杜、障害者入所支援施設又障害者通所施設と色々な事業に関わることができ、感謝しているところです。

私が「穴山の杜」に関わり始めたのは、建築途上だったように思います。建物が日に日に仕上がっていく段階では、何とも言えない緊張と責任が身を襲いだしたことを思い出しました。四月頃には県担当職員にも相談に出向き、施設運営上の準備に入ったように思います。八月にはその全容が見えてきて、玄関ホール・二階と三階の利用者共有スペース又各ユニットの個室と、どれを見ても豪華なホテルに見えてきます。当時、関わりがあった職員は栗原施設長を始め、私と野沢佐知子さんの三人だけの体制でした。思い起こすと一番大変だったことは、ご利用者の確保だったように思います。受付開始からご利用者の応募は多く、自宅又病院等の療養施設に利用者訪問を行い、情報収集に当たったことが思い出されます。十月の開所に向け職員採用も並行して取り組んでいましたので、何かと気苦労が多かった一時期でした。

翌年一月ごろには、ご利用者もほぼ定員に達し、運営も軌道に乗り始めたと思います。開設当初から関わる職員には、職歴があり個性の強い方、又未経験で初めての方など、介護方法や考え方、取り組み方に相違が生じるなど、ご利用者には迷惑をおかけした事は、数知れずであったと思います。

最後になりましたが、「信和会」の益々のご繁栄と職員皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

信和会 10年勤続表彰にあたり

進藤 優樹 (亀3丁目ユニットリーダー)

穴山の杜が開設して10年。私は、開設当初から勤め始め今年で勤続10年となりました。施設が生まれてから10年間を共に歩んできました。思い返すと様々なことが昨日のこのように思い出されます。施設の開所式の時に言われた一言は、今でもよく覚えています。今の若者は3か月で仕事を辞めてしまう。しかし、仕事というものは3か月でよし悪し判断できるほど簡単なものではない。3年やって1人前、10年やって本当の良さがわかる。だから10年頑張ってもらいたい。そのように激励してくれた人がいました。



今まで辞めようと思ったことは、1度や2度ではありません。そうした時にこの言葉をふと思い出し、10年は続かないかもしれないが、とりあえずあと少し頑張ろう。そう何度も思う内に気が付けば10年の月日が経っていました。3年経ち1人前になれたのか。10年経ち本当の良さがわかったのか。自分は、まだまだ知識や技術だけでなく足りないことが多く目立ちます。

仕事に関しては、日々良い事や励みになる事は多くあります。ですが、それにも増して嫌な事、辛い事も多くあります。思った通りに行くことなどめったに無く、思い通りに行かないことの方が多いです。

足りないことが多いながらも今はリーダーとしてユニットを任せていただけるようになりました。10年間仕事を続けてきたことは、着実に自分の力となっていると思います。今まで多くの方々に支えられながら10年間頑張ることができました。今後、更に10年、20年と続けられるよう、ご迷惑をおかけすると思いますがこれからもよろしくお祈りいたします。

10年勤務を迎えて

私は穴山の杜に働かせて頂き、今年の12月で10年経ちます。

その間、いろいろな事がありました。その中でも、ユニットケアを取り入れた事が大きな出来事です。利用者様と多くの時間関わられるように、勤務体制が変わり、仕事していくことが、最初は慣れるまで大変でしたが、今は慣れて、利用者様のケアをしています。

利用者様が自力で食事を召し上がれたり、歩行、立位などが出来た時や看取りの利用者様が食事を摂取できたり一言でも発語されたりすることが嬉しく思います。そして、何よりも利用者様の笑顔になれる時や「ありがとう」と言ってくれた時、一番嬉しく思い、やりがいを感じます。

齊藤文枝(介護職員)

穴山の杜に勤務し、10年を迎える職員2名に、振り返っていただきました。

10年間で振り返って

平成18年11月、縁あって私が穴山の杜の事務職員として勤務をして10年が過ぎようとしています。それまで福祉の世界には関わったことがなかった私には、わからないことも多く不安がありました。しかし職場の仲間や、利用者様、家族様と接することで、もっと知識を増やしたい、もっと利用者様により良く生活していただきたいと思う気持ちが増えてきて、前向きに自信をもって仕事ができるようになりました。

施設では、時には悲しい別れ、また新しい出会いの場面に立ち会う事が多々あります。だからこそ、一期一会の気持ちや感謝の気持ちを大切に、これからも皆様に愛される穴山の杜であるように努力していきたいです。

大柴景子(事務職員)

半年働いて、日々勉強の毎日ですが、利用者様から「ありがとう」とおっしゃっていただいたり、関わっている中での会話がとても楽しいです。一人一人の生活リズムに合わせていく事は大変ですが、楽しみながら働いています。



横田 春香
(亀2丁目)
優和福祉専門学校
H28年卒

私は、おむつ外しやユニットケアに取り組んでいて、家庭的な雰囲気を大切にしているという穴山の杜に魅力を感じ就職しました。実際に働いてみて利用者様一人一人に寄り添った支援を行う事は簡単ではありませんが、とてもやりがいを感じています。まだまだ知識も技術も未熟ではありますが、利用者様との関わりを大切にし、スキルアップ出来るよう頑張っていきたいと思っています。



林 志穂
(亀3丁目)
優和福祉専門学校
H28年卒

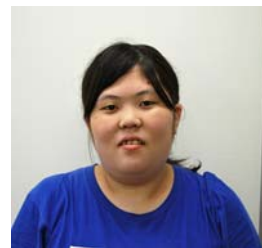
新入職員より ~今年4月に就職しました。頑張っています!~

穴山の杜に就職して半年が経ち、今思う事は私自身の接し方一つで利用者様が頼ってくれたり、笑顔になってくれることがあります。利用者様と接している時が一番やりがいを感じ、この仕事に就けてとても良かったなと思います。まだ至らない部分もありますが、これからも頑張りたいです。



西川 咲希
(鶴1丁目)
優和福祉専門学校
H28年卒

私は、ユニットでの関わり方やおむつ外しの取り組みに魅力を感じました。働き始めて半年が経ち、利用者様に関わっていく中で、なかなかお話しをされなかった方も、今では私の名前を呼び話をしてくれるようになり、とても嬉しかったです。まだまだ未熟で出来ない事も多いですが、これからも努力して頑張ります。



遠藤 敦美
(鶴3丁目)
帝京学園短期大学
H28年卒

わ〜く 穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



生活介護の活動をご紹介します！



今年度より NPO 法人韮崎スポーツクラブと提携し、韮崎市体育指導員のみな様にご協力をいただく中で「総合型スポーツ」を始めました。
また、利用者様だけでなくご家族や職員も楽しみにしている運動会にも関わっていただき、盛大な開催となっております。

身体機能の維持だけでなく、日頃経験できない環境の中で、笑顔の絶えない活動的な場を提供させていただいております。



共同 生活事業だより

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866



グループホームの日常生活を紹介します！



グループホームでは、【利用者様・職員間】の交流を大切に考えています。

月に一度、利用者様に、順番で行く場所を決めてもらって外食に行きます。

合同の食事・カラオケ大会をする時には、慣れないキッチンで腕を振るってくれます。

他施設の職員さんが、遊びにきてくれるときには (我先に・・・) と集まってきます。

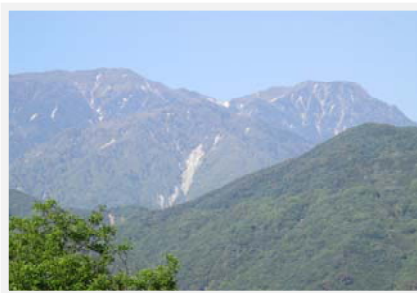
【交流】することで、オープンで居心地の良い場所となることを目指していきたいと思っております。

和気あいあい



穴山の杜ショート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



「ベランダからの風景」

穴山の杜短期入所が4月にオープンし、はや半年が経過いたしました！！

初めは職員の数の方が多く、静かで寂しかったフロアも、日を増すごとに少しずつ賑やかになり、今では終始手拍子と女性陣の歌声が響き、話し声や笑い声、時には怒る声も聞こえ、大分生活感が出て来るようになりました。

それでも利用人数は日によって差があり、もっともっと地域の皆様に施設を知っていただき、より多くの方に使っていただきたいと思います。

施設内には数多くの絵画も展示してあります。絵を観ながらぜひ1度覗きにいらしてください。いつでもお待ちしております！！

『余暇時間のひとコマ』

アクリル毛糸でたわしを編みました。来所者にご自由にお持ちいただき、とても好評でした。



健康第一！！
体を動かし、体操です。



今日のおやつは
お手製のゼリーです。



職員の家に咲いている花をきれいに生け、飾りました。流派は『穴山流！？』



女性陣は大人の塗り絵が得意です。おしゃべりが止み集中です。

さくら

指定特定相談支援事業所 さくら
〒407-0263 韮崎市穴山町 4914-1
TEL : 0551-45-7710



「計画相談」の立場から見てきた我が圏域の実情



指定特定相談支援事業所「さくら」は平成24年7月に開所した事業所です。当時は「計画相談」の制度がはじまっただけとあって、初年度の利用者は12名のみという結果に終わりました。その後3年間のうちに障がい福祉サービスを利用される全ての方に「計画相談」がはいることが必須となり、どの県・どの圏域でも達成率に着目した時期が過ぎました。そしてほぼ達成された今年度にあっては、「質の向上」を求められています。今まではがむしゃらに作ることに傾注していましたが、今後は業務を含めて中身が勝負となります。これは基本的なこととなります。しかし私の所属する圏域では相談員の人数がなかなか増えません。また「さくら」では相談員一人の専従体制ではありますが、現在利用者は3桁に達しました。介護保険とは異なり適正数のないこの事業について、我が圏域では「地域として圏域として県へと働きかけは出来ないだろうか」と昨年度アンケートをまとめました。その結果をさらに集約し、今年度一つの形にして他圏域へと報告していくこととなりました。事業に対する重要性は理解されておりますが、相談員の置かれている実情の理解にもつながればよいと考えております。

感謝録

(平成28年3月16日から平成28年9月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

藤田 元・古内保明・川崎武司・伊藤正大・広江とし子
三井洋子・岩下幸夫・石原文世・内藤まゆみ
韮崎スポーツクラブ (金丸・牛山・平賀)・ますやま整形外科・石橋電気保安管理事務所・新日本空調㈱・マネージメント企画・山梨フードバンク

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

千野公洋 (太鼓)・阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・長坂泰子
小林秀子・細窪房美 (歌謡協力)・田中康子 (絵画指導)
足立悦子 (ピアノ演奏)・石澤一恵・飯野祐子 (習字講師)
平出 恭子 (布草履制作)・内藤舞・羽中田佳穂・谷治ひまり (韮崎高校)・鈴木佑真 (身延山高校)・アンサンブルリベカ (深澤他4名)・ロバとうさぎの会 (角井他))
初花会 (保坂他6名)・松山会 (大矢)・愛宕町キリスト教会 (渡辺他13名)・相生幼稚園児31名

訪問録

(平成28年3月16日から平成28年9月15日)

☆教育実習 (敬称略)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ◎鶴川女子短期大学
石川有彩・田草川葉澄 | ◎あけぼの支援学校
丸山彩都子 |
| ◎山梨学院短期大学
神戸夢美・手川一菜 | ◎わかば支援学校
守谷永遠 |
| 小池はるか・橋戸美菜 | ◎韮崎東中学校
中寫晃生 |
| 立花諒花・神澤 彩 | ◎彰栄保育福祉専門学校
衣嶋幸枝・齋藤杏奈 |
| ◎帝京学園短期大学
小林水萌・藤巻未来 | ◎三幸福祉カレッジ
西田ジャケリネ |
| ◎帝京福祉専門学校
千葉綾香・宮本紗英 | ◎北杜高校
細田美幸・神谷ひかる |
| ◎優和福祉専門学校
樋口真紀・三井悠季 | |
| ◎聖徳大学
木村夏稀・木代奈那 | |
| 後藤奈菜・若杉 鼓 | |

☆施設見学 (敬称略)

- | | |
|-------------|-----|
| ◎山梨歯科衛生専門学校 | 15名 |
| ◎優和福祉専門学校 | 30名 |
| ◎韮崎東中学校1年1組 | 30名 |
- (福祉体験学習施設訪問)

穴山の杜短期入所生活介護施設に 権藤はなよの歌碑を設置しました

はねつき

一、おいはね こぼね
小鳥になって
空まで あがれ
ひい ふ みい よ
いつつでわたそ
花子さんに わたそ

二、おいはね こぼね
ちようちよになって
ひらひら まえよ
ひい ふ みい よ
いつつでわたそ
春枝さんに わたせ



編集後記

昭和61年5月に穴山の里が開所し、本年度で創立30年を迎え、施設開所から10ヶ月後の昭和62年3月に第1号機関紙「あなやま」を発行。その機関紙も本号で100号となりました。30年間の機関紙には多くの方々の思いが書き綴られてあり、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

この30年、福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、制度改革の都度、何がベストなのかを考え、時代に対応して参りました。

アンテナを張り巡らせ、世の中の変化に素早く対応するスピードを持ち、安定した経営、職員が安心して働ける環境、ご利用者の笑顔あふれる介護・支援に繋げてまいります。

これからも地域に根差した法人運営に邁進して参ります。

(M・O)

